

Jtrim “はみ出し加工”



作品2

<http://jtrim7.web.fc2.com/tu-kako11.html>

元画像を開き、加工用にリサイズ、切り抜きをします。（教材は 480×360 でリサイズ済み）

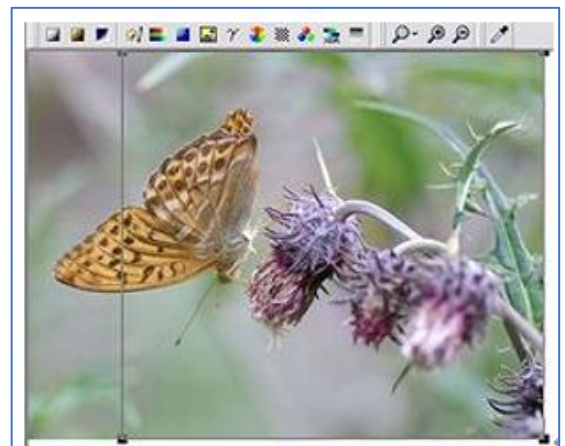
1. Jtrim を起動して、背景色が白以外の場合は、『表示』から『白』に設定します。

2. はみ出し部分以外をドラッグで範囲選択します。

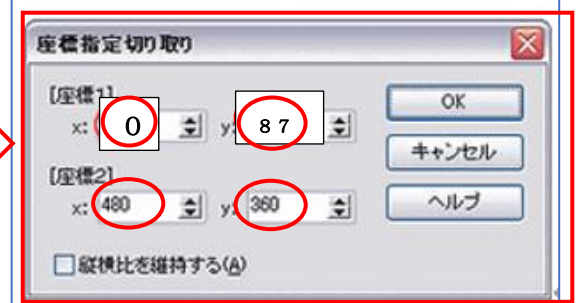
『イメージ』から『座標指定切り抜き』を選択し、表示される座標の位置を確認しメモしておきます。

この画像は左から 87px の位置がはみ出し部分の境界線になることがわかります。

（はみ出す部分が上・下・右の場合も、それぞれの場合に応じた境界線の位置を確認しておきましょう）



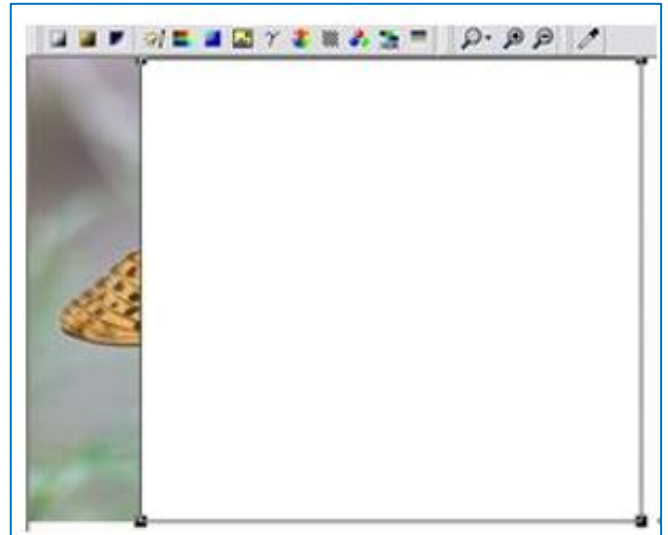
- 左にはみ出す場合 【座標1】の x 値
- 右にはみ出す場合 【座標2】の x 値
- 上にはみ出す場合 【座標1】の y 値
- 下にはみ出す場合 【座標2】の y 値



※ダイアログボックスは「OK」しないで ×で閉じます。選択枠がそのまま残ります。

3. 『編集』から『切り取り』を選択します。選択範囲が切り取られ、クリップボードにコピーされます。

こちらをJtrim「画面1」とします。最小化しておきます。



4. 新しいJtrim を起動して、背景を白色に設定します。

『編集』から『貼り付け』を選択します。すると、切り取った画像が貼り付きました。

(横サイズは、480 から 87 を引いた数になっています)

こちらをJtrim「画面2」とします。



5. 画面2で、以下の手順で額縁を作成します。

【1回目】

- 『イメージ』から『余白作成』ダイアログボックスの上下左右を個別に指定する。の、チェックを入する。

『イメージ』から『余白作成』・・・全部の大きさ⇒2 色⇒グレー
OKする

- 『加工』から『立体枠を付ける』・・・太さ⇒1 「凹ませる」にチェックを入れます。 OKする

【2回目】

- 『イメージ』から『余白作成』・・・大きさ⇒1 色⇒同じ
OKする

- 『加工』から『立体枠を付ける』・・・太さ⇒1 「スムーズ」にチェックを入れます。 OKする



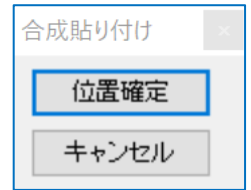
※ここで『編集』から『コピー』をしておく

【3回目】

- ・『イメージ』から『余白作成』・・・大きさ⇒25 色⇒同じ
- ・『加工』から『立体枠を付ける』・・・太さ⇒8 **両方にチェック**を入れます。

『加工』から『ノイズ付加』でノイズを『50』入れる

『編集』から『合成貼り付け』で画面に重ねてからダイアログの『位置確定』とする。



【4回目】

- ・『イメージ』から『余白作成』・・・大きさ⇒5 色⇒同じ
- ・『加工』から『立体枠を付ける』・・・太さ⇒2 「スムーズ」にチェック

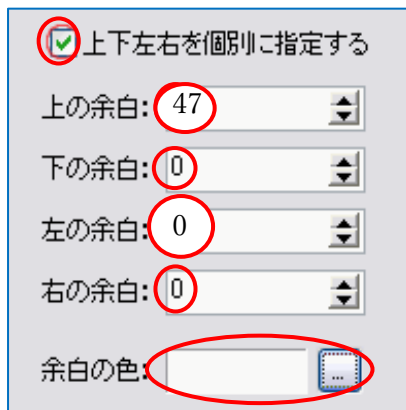
この時、少しでも重ねるのがずれると、上手く出来ません。慎重に重ねてから、位置確定をクリックしましょう。

【5回目】

- ・『イメージ』から『余白作成』・・・大きさ⇒7 色⇒同じ
- ・『加工』から『立体枠を付ける』・・・太さ⇒4 「スムーズ」にチェック

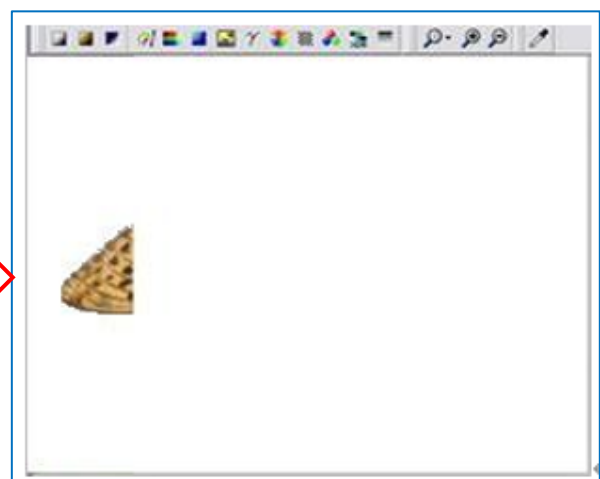
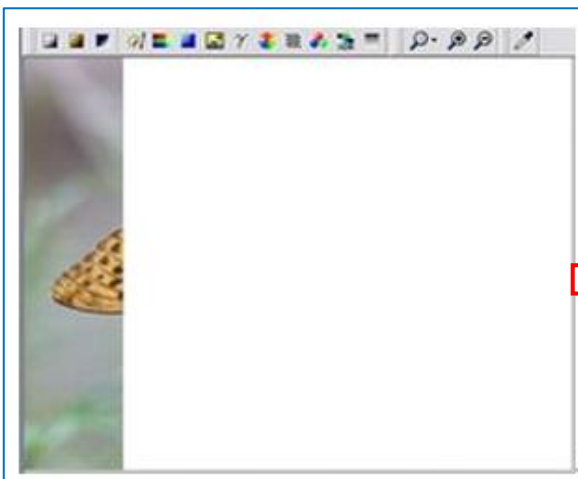
6. 『イメージ』から『余白作成』を選択して、左に 47px の白い余白を入れます。Jtrim 2 を最小化します。

(87 から額縁の幅 40 を引いた数になります)

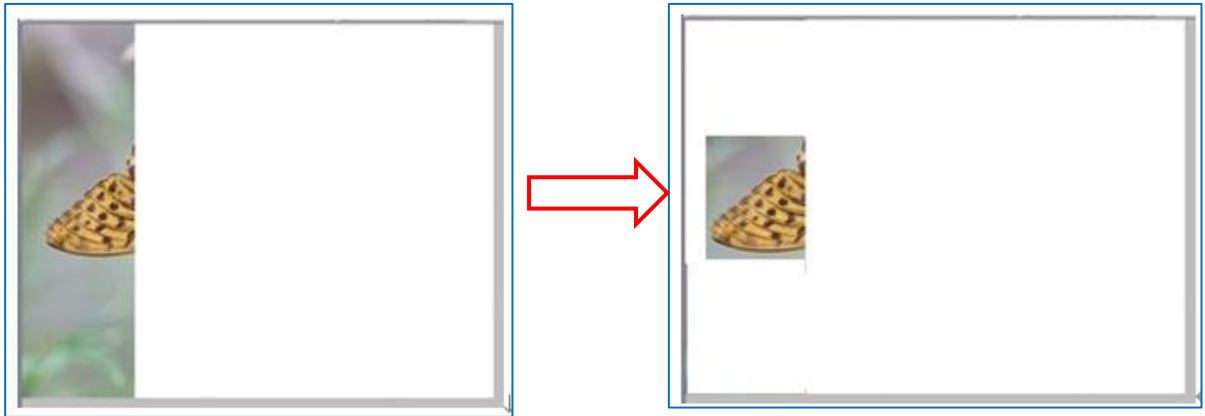


横サイズは元画像に額縁の幅 40px を加えた 520px に、縦サイズは 40×2 を加えた 440px になりました。

7. Jtrim 「画面 1」を立ち上げます。選択枠を外します。蝶の羽だけ残して、白で塗りつぶします。



はみ出し部分の背景を白で塗りつぶすので なるべく塗る範囲が少なくすむように はみ出し部分以外を「ドラッグで選択→切り取り」で白にしておくとの作業が楽です。

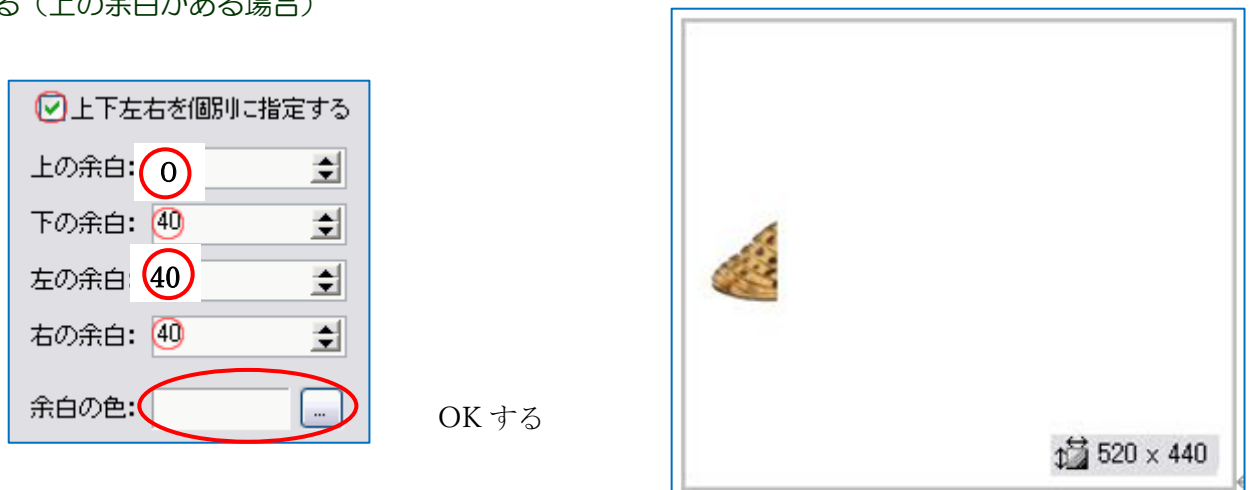


8. 『編集』から『塗りつぶし』で、左ボタンに白を設定します。

背景が1色ではないので「許容範囲」を調整しながら白で塗りつぶします。この画像の場合は、許容範囲を15ぐらいに設定すると、1度で羽の周囲をほとんど塗りつぶすことができます。残った部分も次々に塗っていきます。スポイドアイコンは手前に出ている状態です。



9. 上・下・右に額縁の幅と同じ40pxの余白を作成します。『イメージ』から『余白作成』をクリックして設定する（上の余白がある場合）



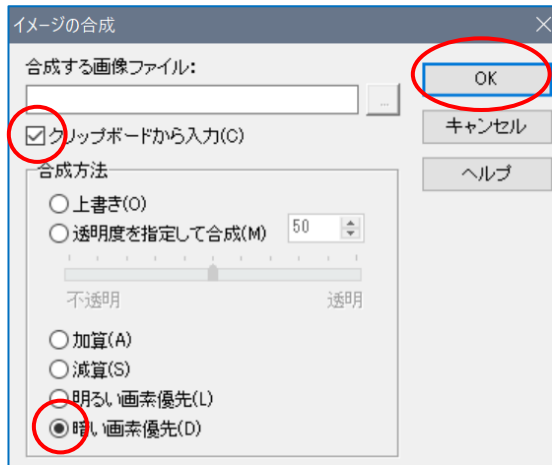
★ この画面を 『編集』から『コピー』します。Jtrim「画面1」最小化します

10. Jtrim 「画面2」 を立ち上げます。

『編集』 から『合成』 で、以下のように設定し「OK」します。

- ・「クリップボードから入力」にチェックを入れます。
- ・「暗い画素優先」にチェックを入れます。

蝶の羽と立体枠が合成される部分に枠の暗い画素が出てしまいました。

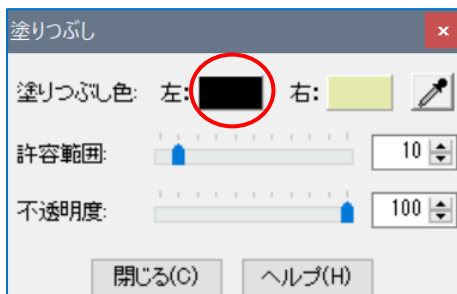


11. Jtrim 「画面2」 を最小化して、Jtrim 「画面1」 を立ち上げます。

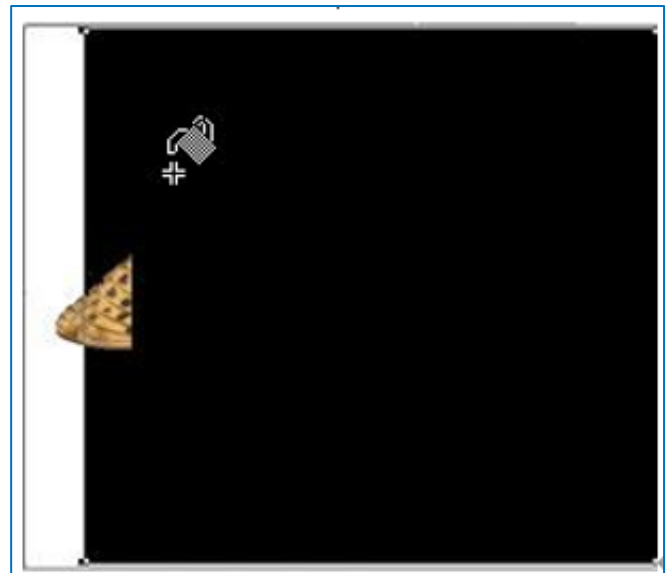
今回は、はみ出し部分以外の背景が黒の合成用画像を作りますが、切り取った画像の外側に 40px の額縁を作成したので、塗りつぶし範囲を左に 40px 広げる必要があります。『イメージ』 から『座標指定切り抜き』で、右のように設定します。ダイアログボックスは「OK」しないで ×で閉じます。選択枠がそのまま残ります。



画面1の選択枠が残るので黒色で塗りつぶします。



クリックで選択を解除してから Jtrim 「画面1」 を『編集』 から『コピー』 します。



12. Jtrim「画面1」を最小化して、Jtrim「画面2」を立ち上げます。

『編集』から『合成』で、以下のように設定し「OK」します。

- 「クリップボードから入力」にチェックを入れます
- 「明るい画素優先」にチェックを入れます

隠れていた羽の部分も はみ出しました。作品1と同じく、塗りつぶしによって左にできた余白は必要ないので、余白以外を範囲選択して切り抜きます。



13. 完成です！

<参考>

はみ出す部分と額縁の色の明暗によっては、白背景（暗い画素優先）か黒背景（明るい画素優）のどちらか一方だけの合成で「はみ出し」が完成する場合があります。白背景、黒背景の両方での合成は、どの画像でも OK な方法です。

